

創業 290 年超を誇る香老舗が挑む革新

線香および香製造販売を手掛ける奥野晴明堂には、江戸時代より伝わる門外不出の調合帳があり、「和の香り」を守り続けている一方で、常に新しい香りの市場を開拓しています。その一つが「お香クラフト」。お香の粘土で花や人形などを作ることができ、カルチャー教室などで作り方のレクチャーをしています。

<お香クラフト体験教室>

開催場所：大阪堺市 ハーベストの丘

開催日時：10:30～15:00（第2、第4日曜日）

（詳しくは、検索サイトでハーベストの丘を検索、
体験教室コーナーのクラフト体験ページにて）

7月18日に産直市を開催いたします！

株式会社喜多猿八では毎月第1・第3土曜日に「うまいもん」にこだわった産直市を開催しています。地元の農家さんからの、とれたて・新鮮な野菜や果物、花などを販売していますのでぜひお越し下さい！



場所：高松市松島町1丁目7-17（喜多猿八・旧松島店舗）

とき：7月18日（土）7:00～11:00

今回のおすすめは、初夏の太陽をいっぱい浴びたモモやピオーネ等の果物です。

ベトナム企業とのビジネスマッチング

9月19日から24日の日程で、現地へ訪問します。今回は現地企業との具体的なビジネスマッチングの可能性を検討します。

今年の4月に、ベトナム共産党中央執行委員会書記長が来日し、4月20日の麻生太郎内閣総理大臣との会談の中で、双方は、日本国とベトナムとの間で構築されたアジアにおける平和と繁栄のための戦略的パートナーシップを発展させていくことで一致しました。このように今後ますます深まる日本とベトナムの関係の中で、我々のビジネスにとって、どのような関わり方が出来るのかを改めて考えていくべき時が来ているといえます。是非、新たなビジネスチャンスをつかむ機会にさせていただきたいと思えます。現在準備中ですので、詳細が決定次第ご案内いたします。

爪楊枝の使い方を間違っていないか？

現代の日本において一般的な丸い爪楊枝は、料理具として、また歯の清掃具として使用されています。しかし、元来、料理用と歯の清掃用は別物で、海外では料理用はカクテルピック、薄くて細かい歯の掃除用はトゥースピックと呼び、歯を守るためにはデンタルピックと呼ばれる三角楊枝が使われています。先進国では当たり前の三角楊枝ですが、お家元の日本だけが三角楊枝を使っていません。その結果、80歳の時の自分の歯の平均が、日本では9本、北欧では17～18本となっています。（政府は80歳で20本をと「8020運動」を展開中）

大阪河内長野の地場産業である爪楊枝を支える(株)広栄社では、「つまようじ資料室」をつくり19年余、本来のあるべき姿を知ることができます。詳細は、検索サイトにて「(株)広栄社」で検索！



第6回ふれあい広場開催いたします

恒例になりました、「ふれあい広場」が7月25日（土）7:00～からカナック本社駐車場にて開催されます。今回は、夏も本番を迎え、ちょっと趣向を凝らし浴衣なども取り揃えています。5月23日（土）に開催された第5回では、開店前から人だかりの山...200名を超える沢山の方に足をお運びいただきました。地域の活性化を目指して、今回もますますパワーアップして開催いたします！皆様の来場を心からお待ちしています！

